



# 西小だより

求める児童像

進んで学び努力しようとする子・心やさしく礼儀正しく行動しようとする子・健康で明るくたくましく進んで鍛えようとする子

組織目標：明日が待ち遠しい「魅力あふれる学校」づくり

HPアドレス <http://www.town.ibaraki-yachiyo.lg.jp/page/dir000006.html>

令和3年9月1日

第5号

八千代町太田365番地

西豊田小学校

## 「子ども一人一人が主役」の運動会

9月1日には、学校に子どもたちの笑顔と元気な声が戻ってくる予定でしたが、コロナ禍の沈静化が見られず、2学期は臨時休業でのスタートとなりました。しかし、夏休み中、大きな事件や事故もなく、子どもたちが元気に過ごせたことは大変うれしく思っております。

さて、今月25日には運動会を予定しております。特に高学年の子どもたちにとっては、それぞれが役割を担い、責任を果たすことで成就感や達成感を実感できる重要な機会です。臨時休業のため、練習時間は短くなりますが、「子ども一人一人が主役」の運動会を通して、心身共に成長させたいと思っております。

西豊田小学校長 安藤 一彦

新型コロナウイルス感染症対策の一貫として、今年も集会形式でのPTA総会が中止となり、書面上承認となりました。PTA会長の生井正行様より、挨拶文を寄せていただきました。



コロナ禍の中、無事一学期が終了しました。総会の中止(紙面決議)、修学旅行や宿泊学習、遠足等の延期、と出鼻をくじかれた感は否めませんが、昨年と違うのは腐心しながらも休むことなく学校生活が送れていることです。学校の先生方や保護者の方々の献身的な努力の賜物であり、皆様のご尽力に敬意を表します。

さて、先日、オリンピック東京大会がすべての競技を終え閉幕しました。開催の延期や無観客の試合など異例の大会となり、期間中も感染拡大がやまず、開催前の諸問題もあわせ、開催に対する賛否の溝は埋まることはないでしょう。

ただ、アスリートたちの躍動が、見る人たちの心を動かしたのも事実。アスリートの精神的、肉体的限界の先にあるものに目を向け、耳を傾ければ、今回のオリンピック開催の大きな意味と価値を見出したのではないのでしょうか？

私は、銀メダルを獲得した女子バスケットボール日本代表の戦いぶりに感銘を受けました。格上チームを次々と倒し、絶対女王アメリカとの決勝戦では身長差41cm(日本・町田選手とアメリカ・グリナー選手)も果敢に挑み、敗れはしましたが、五年前失笑された目標『決勝でアメリカを倒す』は、決して大言壮語ではないことを証明しました。競技の性質上不利であろう体格差をスピード、戦略、運動量、そして組織力で補い、「やればできる」「夢はかなう」を実践し、国民に希望と勇気を与え、そして日本人としての誇りを再認識させてくれました。

不安だらけの異例のオリンピックも、終わってみればいつもより多くの感動をもたらした特別なオリンピックだったように思います。

感動と縁は多ければ多いほど人生は豊かになる。子供たちにも、より多くの感動と縁があってほしいと願います。そしてPTA活動がその一助となれば幸いです。

今後もPTA活動にご理解とご協力のほどよろしく願います。



## 行事予定 9/1現在

詳細については、各学級の週予定をご覧ください。

1日 (水)

臨時休業(～12日)

2日 (木)

口座引落し

分散登校(太田・若・貝谷・本郷) 10:20下校

3日 (金)

分散登校(仁江戸・栗野・片角・中野・荻橋・東大山・沼森・川尻・今里)

10:20下校

4日 (土)

PTA保体委員会 テント設営

PTA環境委員会役員 除草剤散布

17日 (金)

月曜日課

18日 (土)

親子奉仕作業(仁江戸・太田・若・片角・栗野)

PTA本部役員会・専門委員会・常任委員会

20日 (月)

敬老の日

23日 (木)

秋分の日

25日 (土)

運動会(雨天順延)

27日 (月)

振替休業日

30日 (木)

月曜日課

\*下校時刻については、本日配付した文書をご覧ください。

## 学校生活アンケートより

1学期末の児童・保護者の皆様によるアンケートをもとにした、学校評価結果です。真摯に受け止め、今後の教育活動の充実に努めてまいります。

4段階評価

4:はい 3:どちらかといえば、はい 2:どちらかといえば、いいえ 1:いいえ

項目		児童 平均値	保護者 平均値
確かな学力	① ねらいを意識して、楽しく学習に取り組んでいるか	3.7	3.0
	② 目標を決めた上で、毎日家庭学習に取り組んでいるか	3.6	2.7
豊かな心	③ 自ら元気なあいさつをしているか	3.7	3.1
	④ 思いやりと感謝の心をもち、言葉で伝えているか	3.7	3.2
健やかな体	⑤ 自ら進んで運動に取り組んでいるか	3.6	3.2
	⑥ 毎日の朝食を食べ、自ら健康な生活をしているか	3.8	3.6
社会の変化 に対応	⑦ 夢や希望、将来就きたい職業があるか	3.6	3.1
	⑧ 日本や海外の文化に興味があるか	3.6	2.4
開かれた 学校づくり	⑨ 便りや週案、HPで学校の情報を発信しているか	3.5	3.4
	⑩ 地域での学習や交流活動に取り組んでいるか	3.5	3.1

\*保護者の声に関しては、裏面をご覧ください。

## お願い(重要)

全国的に新型コロナウイルスの変異株による第5波が到来し、急激な感染拡大やクラスターが発生しています。国の緊急事態宣言及び県の非常事態宣言発令中です。

**家族や本人が体調不良時は、登校を控えるようお願いいたします。また、本人又はご家族の方が、PCR検査を受けることになった場合には、速やかに学校までご連絡をお願いいたします。ご協力よろしく願います。**

## 保護者アンケート結果（記述）より

- いつも子どもたちと保護者のことを考慮してくださりありがとうございます。行事や伝統をコロナ禍を理由に取りやめることは簡単ですが、なくしてしまうと再開することは難しくなるので、絶えることなく引き継いでいけるよう尽力をお願いします。
- 感染症予防をしながら、ゲストティーチャーを呼んで学習したり、タブレットで学習したりと、工夫しながらの取り組みありがとうございます。それらことを家で話している姿からも充実感が伺えうれしいです。先生方の努力、ありがとうございます。
- 今まで通りでいいと思います。
- 校外学習に行けない代わりに出前授業をしてくださったり、英検受検を推進してくださったり、たくさんのチャレンジを提供していただき、それが毎日元気に登校する糧となっています。ありがとうございます。
- 子ども達が安心して楽しく通える学校であれば（笑顔）今までどおりでOKです。
  - たくさんのエールありがとうございます。誠心誠意頑張ります。
- ☆ 授業参観は、普段の授業風景を垣間見たいので、発表会形式の特別なものを望みません。
  - 発達段階や時期・状況に応じて、内容を工夫します。
- ☆ コロナ禍における児童の体調不良の対応が、過敏な部分があるかと思います。日々の検温と表情・声掛けから対応可能などころもあるように思います。活きた情報の活用を親である私達も気にかけて過ごしたいと思います。
  - 学校の安全・安心のために、できる限りの対応をしています。変異株の影響で学校におけるクラスター等も発生している状況です。国や県からも指示がでておりますので、少しでも本人やご家族が体調不良時には、登校を控えていただいたり、速やかに迎えに来て頂きますようご協力よろしく願いいたします。
- ☆ 3月に行政区ごとに集まり、登下校の見直しについて話し合った結果を提出したが、他行政区の結果が気になります。
- 3月の地区別懇談会は、意見を共有でき、今後子供の数が少なくなる未来へ対応がきく、有意義な場となった。
- 自分の地区では、下校時に1人にならないように...ということで連絡網をつくってもらいました。安全と体力向上のために、何もしなければ歩きで帰る様にといいことで迎えに行かないようにしています。ですが、他の保護者はうちの子が1人になってしまう事に気が付きません。（他の地区の子も方向が一緒なので。）遠いから、暑いから、出かけるから...色々あると思いますが、気にかけていたのは最初だけで、全然改善されません。何もしなければいいですが、不審者情報を、よく聞くのでこわいですね。他の地区も同じことだと思います。もちろん歩きで帰る子もいます。ただ、他の班の仲のいい子でグループになって帰ったりと、それが理由で1人になってしまうこともあるかなと思います。
  - 3月の地区懇談会において、各地区で話し合いをいただき本当にありがとうございました。地区によって実態もかわるようですが、子どもたちの健やかな成長と、元気で安全な登下校と学校生活は、どなたにとっても最大の願いだと思います。誰もが安全な登下校は、結果として、ご自分のお子様の安全にもつながるはずで、左に、地区懇談会で話し合った結果を記載させていただきます。改めて、ご配慮をお願いいたします。

## 登下校に関する課題への各地区の対応策より （於：3月 各地区懇談会より）

- 路上駐車等への頻繁な苦情
  - ・チラシを作り、送迎している人に直接渡す。
  - ・児童本人からお家の人に話してもらう。
  - ・自転車や徒歩にしてもらう。（防犯対策にもなる）
- 長距離を一人で登下校になってしまう児童の懸念
  - ・各通学班で協議
  - ・各地区で作成した下校班表を活用する。
  - ・児童が一人で通行するルートを最短・最小限にできるように、6年生の保護者主導で、峠後半を大幅に改編した。
  - ・下校途中に一人になってしまう場合は、その保護者が見守る。
  - ・急な対応時に連絡が取れるように、地区内で連絡先一覧表を作成し、共有している。
- 登下校中のトラブル
  - \*児童同士
    - ・親子の会話を増やし、1日の出来事等を会話する。
    - ・問題発生時・・・学校と連携し解決。
  - \*その他
    - ・集合場所への遅刻時の連絡の不徹底等によるトラブルがあったので、班内でルール共有を徹底した。
- 危険箇所について
  - ・グーグルマップの航空地図を用いて危険箇所をマーカーでハイライトしてもらい、地理環境や距離を客観的に把握した。
  - ・歩道等については、町通学路点検時に要望（済み）
  - ・メンバーによって、通学路の変更も検討